

地震・津波に備える

地震とそれに伴う津波は、いつ発生するか分かりません。突然、地震発生。そんなときのため、日頃何しておけばいいのかわっておくことが、自身や周りの人の安全確保につながります。

問合せ 危機管理課 ☎ 33-4112

日頃から 7つの備え

1. 防災訓練

日頃から防災訓練に参加し、防災行動力を身に付ける。

2. 家庭の防災会議

家族で「家の中でどこが安全か、避難場所はどこにあるか、避難するときに何をもち出すか」などを決めておく。

3. 住宅の耐震診断、耐震補強

住宅の耐震診断を実施する。

4. 家具などの転倒・落下防止

家具や食器棚の転倒防止を行い、中身が飛散しないよう扉を留め具で固定する。

5. 消火器などの備え

消火器や懐中電灯、厚手のスリッパ（ガラスによるけが防止）などを用意する。

6. 非常持出品の準備

避難場所での生活に最低限必要なものを準備する。

7. 家族の安否の確認方法

地震時に落ち合う場所や安否情報を取り次ぎしてもらえる遠方の親戚などを決めておく。また、NTT「災害用伝言ダイヤル171」、携帯電話会社の「災害用伝言板」の活用方法を確認しておく。

津波に備える

平成25年に熊本県が行った地震津波の調査によると、八代市では震度7の地震が発生し、揺れにより堤防が破壊された場合、約6500haという広範囲が津波による浸水の被害を受けるといった結果になりました。

本市では、下表の施設と「津波災害又は水害時における緊急一時避難施設としての使用に関する協定」を結んでおり、津波に襲われた際の避難場所として「津波・水害避難ビル」に指定しています。

お住まい近くの施設を確認しておきましょう。

市ホームページに防災マップ、地震マップを掲載しています。日頃からの備えにご活用ください。

正しい情報の入手を

テレビやラジオなどの報道や市役所からの情報に、絶えず注意する。

▼八代市緊急情報配信メールサービス

alreg@ns2.yatsushiro.org
に空メールを送って、登録手続きをしてください。またはQRコードから



▼防災行政無線電話応答サービス

防災行政無線の内容が聞きづらかった、聞こえなかった場合に、もう一度内容を確認できる電話応答サービスが利用できます。

フリーダイヤル（通話無料）

0800(200)3348

おかけ間違いにご注意ください。



▼データ情報提供サービス「デタボン」

テレビで、市からの様々な情報を見ることができます。

①RKK（3チャンネル）を視聴します。

②リモコンのdボタンを押します。

③「デタボン」を選び「決定」ボタンを押します。

防災情報には、避難所開設状況や避難勧告など、イベント・お知らせには、催事や行政情報など、電話帳には、各課直通番号を掲載しています。ぜひ、ご活用ください。



津波・水害避難ビル一覧

施設名	所在地
1 熊本交通運輸 鏡町倉庫	鏡 町 鏡
2 JAやつしろ中央第一カントリー	昭 和 日 進 町
3 JAやつしろ 総合青果物センター・中央トマト選果場	古 閑 浜 町
4 介護老人保健施設とまと 本館・南館・八代病院2病棟	郡 築 一 番 町
5 JAやつしろ南部トマト選果場	植 柳 下 町
6 ケアハウス 偕老苑	大 福 寺 町
7 ホテル 大黒屋	麦 島 西 町

「津波・水害避難ビル」とは、津波・水害に対し安全性が確保できる高い階を所持建築物で、市と協定を締結している緊急一時避難施設です。

施設名	所在地
8 丸田病院（水害時のみ）	萩 原 町
9 ゆめタウン八代	建 馬 町
10 イオン八代店	沖 中 央 通
11 八代グランドホテル	旭 中 央 通
12 リハビリ特化型デイサービスセンター 花つばき	千 反 町
13 ホテルウィングインターナショナル熊本八代	旭 中 央 通

H28.4.1現在